教育目標　すくすく　ぐんぐん　にこにこ

園だより 10月

令和５年９月２９日
第５４５号
北区立じゅうじょうなかはら幼稚園

園長　髙沢　ゆみか

園と家庭をつなぐ月

９月の中頃に、ホールの窓の上の方に紙で作った夜空が貼られました。ホールの中からも、外の園庭側からも見られるよう、同じ夜空が両面に貼られています。その夜空には仕掛けがあり、十五夜までの間、少しずつ月が満ちていくようになっています。子どもたちは、毎日その月を見ては「またちょっと大きくなったね」と月の形の変化を楽しみにしていました。また「昨日、お月さま見たよ」「私も見た！」「すごく大きくなっていたよ」「まんまるまであと少しだね」などと、実際に夜おうちで月を見たという声が、日に日に子どもたちからたくさん聞かれるようになっていました。未就園児の会で来園した方々も「ほら見て、お月さまがあるね」と親子で楽しそうに幼稚園の月を見ていかれました。

ホールの中からも外からも見られるようになっている園の夜空は、子どもたちが、幼稚園の生活の中で関心を寄せて楽しむだけでなく、ご家庭でも話題にしていただきながら、おうちの方と一緒に夜空や月の様子に興味をもったり、実際に親子で夜空に浮かぶ月を見て、美しさを一緒に感じたり、様々な想像をふくらませたりしてほしいという思いを込めた、担任の手作りです。

日中、子どもたちが幼稚園にいる間に、夜空に輝く月を実際に見ることはできません。その分、月に関連する絵本を見たり、月が少しずつ形を変えながら満ちていくのを楽しみにしたり、月に何かがいるように見えると想像を膨らませたり…と、友達や教師と一緒に関心を高めています。そのような園での生活を通して「夜、おうちで月を見よう」という気持ちになった子もいたことでしょう。そして実際にご家庭で月を見て「この月の話を明日幼稚園でしたいな」と、期待をつないだ子もいたことと思います。園とご家庭での経験を行き来させる中で、子どもの経験は厚みを増していきます。今後もご家庭としっかりとつながりながら、子どもたちの経験が一層充実していくように支えてまいりたいと思います。

９月２９日は「中秋の名月」（十五夜）です。「中秋の名月」と満月は重ならないこともあるのですが、今年はちょうど満月のため、まんまるのお月見が楽しめそうです。また、十五夜に次いで美しいと言われる十三夜の月は、今年は１０月２７日に見られます。月が美しい季節。秋の夜長を明るく照らす月を、ほんの少しの時間でも親子で見上げてみてください。おうちの人と一緒に見た月と、そのときに感じた気持ちは、きっと子どもたちの心に刻まれることと思います。

今月の指導のねらい

＜ちゅうりっぷ組＞

- 自分の思いやイメージを動きや言葉で表したり、友達に伝えたりする楽しさを感じる。
- みんなで一緒に過ごす中で、自分の動きを伸び伸びと表し、身体を使って遊ぶことを楽しむ。

＜さくら組＞

- 一日の流れや生活に必要なことが分かり、見通しをもって生活しようとする。
- 友達と遊びや生活を進める中で、目的やイメージを共通にして取り組む楽しさを味わい、自分の力を発揮しようとする。